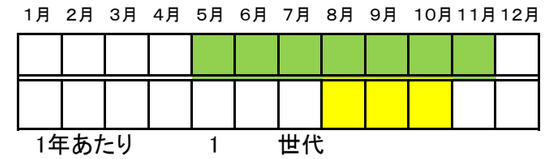
種名称（学名）	アゼナ　　参考文献：田んぼの草花指標（農と自然の研究所ほか）
分布	全国
日本名	畦菜
主な地方名	アゼクサ、コゴメ、アズキグサ、オオムシロ
中国名	陌上菜

本種写真	生息環境写真	指標に挙げた理由	主な生育場所	大きさ	観察のポイント	類似種	見分け方	生態的な特徴	生活史　関東地方の例（目安）
		指標区分：Ⅰ(5)，Ⅳ(1) 水田に生える代表的な在来の小型の草。	水田・畦畔・休耕田・ため池	大きさ：10～20cm 種子・繁殖体の大きさ： 0.1－0.3(mm)	花柄が外来2種より長い。			水田を代表する小型の植物。 【繁殖形態】種子繁殖。種子は灌漑水の流れにのったり、土壌とともに農機具に付着して散布。 【越冬形態】種子が土壌中で越冬。 【訪花昆虫】 【植食昆虫】	
農業との関係	最近の動向	つきあい方	食用部位と調理法	薬用部位と効用	一言うんちく	季節と句			
スルホニルウレア系除草剤抵抗性生物型も見られる。 【許容範囲密度の目安と発生量の調査方法】 水田内では60－180本/㎡以下であれば許容範囲。単位面積あたりの発生株数や被度調査、埋土種子量から発生量を把握する。	アメリカアゼナやタケトアゼナに押されて、見かけることが少なくなった気がする。	古来からの田んぼの「ただの草」。アゼナ類を含め水田内ではよく似た種類が多いので、見分けられる目を持てるかどうか。	名前からしても見た目からも新芽がおいしそう。	薬としての利用や薬効の記載は見あたらない。	畦菜とあるが、実際には水田の中のほうが発生が多い。畦にはアメリカアゼナやタケトアゼナの方が適しているようだ。				